

今後のサブドレン水位低下について

2019年11月29日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

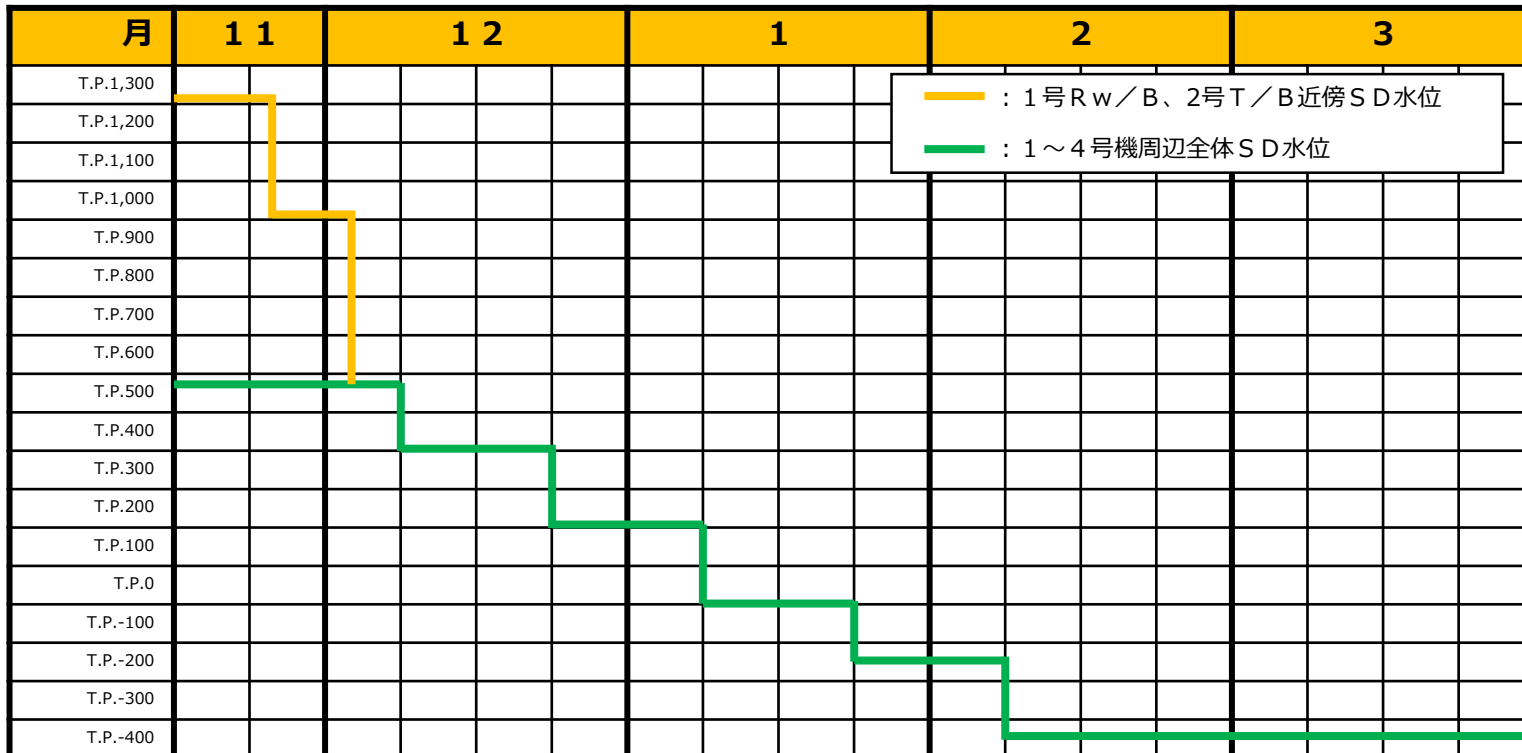
今後のサブドレン水位低下工程

- 今後のサブドレン（SD）水位低下工程の案を以下に示す。
 - 12月上旬に、全体SD水位をT.P.400mmへ低下を計画している。
 - 暫定運用として、40mm以上の降雨が予報されている場合、1号Rw/B・2号T/B近傍SD水位を一時的にT.P.1,300に変更する。
- SD水位を安定的に低下できるように、水位計露出エリアに関する恒久的な対応について検討を進めており、暫定運用期間は降水期（2020年5月頃）までを目途とする。

<1号Rw/B・2号T/B近傍SD水位低下条件>

- 40mm*以上の降雨がないこと

* 露出水位計の指示値上昇によりLCO逸脱が確認されたエリアについて、11/23,24の降雨(約40mm)で水位上昇がないことを確認。閾値となる降雨量については実績を踏まえ、順次引き上げを行う。



露出エリア指示値上昇によるLCO逸脱事象に伴う サブドレン水のサンプリングについて

2019年11月29日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

- 露出エリア指示値上昇によるLCO逸脱事象をふまえ、1号機Rw/B及び2号機T/Bの周辺サブドレン水の放射能濃度を分析。一部、これまでのオーダーを上回る箇所が見られたものの、当該露出水位計エリアとの位置関係等をふまえると、建屋滞留水の流出を示すような変動ではないと評価。
- その後も継続して、通常時より頻度を上げた1回/週にて、当該サブドレンの水質分析し、監視を強化している。
- なお、サブドレン水に関わる水質は、通常時、代表のサブドレンについて1回/2週及び、サブドレン中継タンクについて2回/週の頻度にて、分析を行っている。
- 現在まで分析結果に大きな変動はないことから、LCO逸脱事象に伴う監視強化を12月より解除する。なお、代表のサブドレンならびにサブドレン中継タンクにおける水質分析による監視は継続し、有意な変動の有無を確認していく。

【参考】 1Rw/B周辺サブドレンの分析結果

[Bq/L]

SD No.	Cs-134					Cs-137				
	過去値※1	10/28	11/6	11/13	11/20	過去値※1	10/28	11/6	11/13	11/20
-	過去値※1	10/28	11/6	11/13	11/20	過去値※1	10/28	11/6	11/13	11/20
8	1E+0 ~1E+2	< 4.1	< 4.0	< 3.4	< 4.0	1E+0 ~1E+3	12	42	6.3	22
9	1E+0 ~1E+2	5.7	9.5	5.4	< 6.3	1E+0 ~1E+3	95	120	101	42
203	1E+0 ~1E+0	< 5.0	< 4.8	< 4.8	< 4.0	1E+0 ~1E+0	< 3.4	< 3.9	< 3.9	< 5.4
204	1E+0 ~1E+0	< 5.1	< 4.8	< 4.2	< 3.5	1E+0 ~1E+1	< 3.8	< 5.0	< 3.3	< 3.8
205	1E+0 ~1E+0	< 3.9	< 4.1	< 5.0	< 3.7	1E+0 ~1E+1	< 4.6	< 5.1	< 4.5	< 3.8
206	1E+0 ~1E+1	37	< 4.5	< 4.2	< 3.5	1E+0 ~1E+2	671	29	< 5.1	< 4.5
207	1E+0 ~1E+1	< 6.0	< 6.0	< 4.7	< 3.0	1E+0 ~1E+2	15	41	34	39

(参考) 運転上の制限 : 1E+5 Bq/L

※1 : 過去値の欄は、2015年8月~2019年10月における分析結果のオーダーを記載。
 なお、下限値は検出限界の値を一部含む。

【参考】 2T/B周辺サブドレンの分析結果

[Bq/L]										
SD No.	Cs-134					Cs-137				
-	過去値※ ¹	10/29	11/6	11/13	11/20	過去値※ ¹	10/29	11/6	11/13	11/20
1	1E+0 ~1E+1	27	6.5	< 7.1	< 5.0	1E+1 ~1E+2	414	113	105	77
21	1E+0 ~1E+1	23	< 5.3	< 4.7	< 3.9	1E+0 ~1E+1	327※ ²	23	24	5.9
22	1E+0 ~1E+1	4.8	< 6.0	< 5.7	< 5.2	1E+1 ~1E+1	76	22	35	22
23	1E+0 ~1E+1	19	41	37	40	1E+1 ~1E+3	303	673	657	589
24	1E+1 ~1E+2	41	69	57	34	1E+2 ~1E+3	672	1121	999	468
25	1E+1 ~1E+2	23	161	178	154	1E+2 ~1E+3	403	2599	2584	2435
26	1E+0 ~1E+2	14	14	75	34	1E+1 ~1E+3	291	255	1090	491
27	1E+0 ~1E+3	20	18	18	24	1E+1 ~1E+4	342	300	426	481
33	1E+0 ~1E+1	< 5.1	< 4.1	< 2.8	< 4.4	1E+0 ~1E+2	9.0	< 4.4	< 4.4	6.7
34	1E+0 ~1E+1	< 4.5	< 4.3	< 5.8	< 4.3	1E+1 ~1E+2	27	22	31	23

(参考) 運転上の制限: 1E+5 Bq/L

※¹: 過去値の欄は、2015年8月~2019年10月における分析結果のオーダーを記載
なお、下限値は検出限界の値を一部含む。

※²: 過去のオーダーより大きいNo.21については、本事象発生時に十分な水位差はなかったものの、当該露出水位計エリアから建屋をはさんだ反対側の離れた場所であり、当該露出水位計エリアにより近いサブドレンの濃度上昇は見られない。これより、過去と同様に降雨による変動と評価。

【参考】 周辺サブドレンの配置

